

再評価結果（平成21年度 事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課、有料道路課
 担当課長名：深澤 淳志、上野進一郎

事業名	ちゅうぶくわんどうしやどう さくみなみ さく 中部横断自動車道(佐久南IC～佐久JCT) かんえつじやうしやどうじやうえつせん さく 関越自動車道上越線(佐久JCT)	事業	高速自動車国道	事業	国土交通省関東地方整備局
起終点	自) 長野県佐久市大字桜井 至) 長野県小諸市大字御影新田	区分	(新直轄・有料)	主体	東日本高速道路株式会社
				延長	7.8 km

事業概要
 中部横断自動車道は、東名・中央・上信越自動車道を連結し、内陸部と臨海部の連携を強化し、地域間交流の拡大をはじめ関東地方の広域的なネットワークを形成するとともに、現道の渋滞緩和、救急医療体制の支援、物流の効率化など社会経済活動の発展に寄与する路線である。

H10年度事業化	H8年度都市計画決定	H12年度用地着手	H15年度工事着手
全体事業費	412億円	事業進捗率	77%
計画交通量	4,600～15,900台/日	供用済延長	0km

費用対効果 分析結果	B/C	総費用	総便益	基準年
	(事業全体)	(残事業)/(事業全体)	(残事業)/(事業全体)	
	1.8	105/430億円	761/761億円	平成20年度
	(残事業) 7.2	(事業費:84/410億円 維持管理費:20/20億円)	(走行時間短縮便益:561/561億円 走行経費減少便益:136/136億円 交通事故減少便益:64/64億円)	

感度分析の結果 残事業について感度分析を実施
 交通量：B/C=6.5～8.0（交通量±10%） 事業費：B/C=6.7～7.9（事業費±10%）
 事業期間：B/C=6.5～8.3（事業期間±1年）

事業の効果等
 東信地域唯一の第3次医療施設へのアクセスを強化し救急医療体制を支援するとともに、広域的なネットワークの形成及び現道との交通分担により、現道の渋滞緩和、地域経済発展、物流の効率化を図る。

関係する地方公共団体等の意見
 地方にとって、道路は病院間の廊下であり、生きていく上で最も重要なものであるが、その整備は遅れている状況である。（佐久市長）
 佐久市高速交通網建設促進期成同盟会（会長：佐久市長） H19：2回、H20：5回
 長野県中部横断自動車道建設促進期成同盟会（会長：佐久市長） H19：2回、H20：1回
 小諸市中部横断自動車道建設促進協議会（会長：小諸市長） H19：1回、H20：2回
 南佐久郡町村会（会長：川上村長）・土木協議会（会長：佐久穂町長） H19：4回、H20：5回

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等
 平成15年12月第1回国幹会議において、新直轄方式による整備に位置づけられた。また、平成18年9月に整備計画が変更され、地域活性化IC（国道141号IC、中佐都IC）が連結許可された。

事業の進捗状況、残事業の内容等
 用地取得は96%完了しており、工事は全面展開中。今後は、地域活性化ICの工事に着手するとともに、橋梁上部工事や道路改良工事等を推進する。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等
 今後も引き続き用地取得・工事を推進し、平成22年度末に先行2車線での供用予定。

施設の構造や工法の変更等
 -

対応方針 事業継続

対応方針決定の理由
 用地・工事の進捗が進んでおり、早期の効果発現を図ることが適切である。



総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。